

帯広市民文化ホール 大ホール リニューアル記念



帯広交響楽団

第41回定期演奏会



指揮
渡邊 一正

©満田 聡

プログラム

「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より前奏曲
ワーグナー

交響曲第5番「運命」 ベートーヴェン

ヴァイオリン協奏曲 ブラームス

2019年 5月19日(日)

14:30開場 15:00開演

*開演10分前にプレトークがございます。お早めにお越しください。

帯広市民文化ホール 大ホール

入場料

S 席 (1・2階指定席) 2,000円(当日2,500円)

A 席 (1階前4列・両サイド1部指定席) 1,500円(当日2,000円)

B 席 (3・4階自由席) 1,000円(当日1,500円)

学生券 (3・4階自由席) (小・中・高生) 500円(当日600円)

*チケット先行発売 3月3日(日)10時~3月10日(日)チケットらいぶのみ

*チケット一般発売 3月24日(日)10時

チケット取り扱い チケットらいぶ (帯広市民文化ホール内)
勝毎サロン (藤丸7階)

主催/帯広交響楽団

共催/一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団 十勝毎日新聞社

後援/帯広市教育委員会 帯広シティーケーブル FM-JAGA

問い合わせ/帯広交響楽団事務局 (帯広市民文化ホール内) 0155-22-7739 ホームページ/<http://obikyoku-1987.muse.weblife.me/>

*未就学児は入場出来ません。*託児室(利用無料)を設けております。公演10日前までに事務局へ申し込みください。

*長崎屋の駐車場には台数に限りがございます。なるべく公共の交通機関をご利用ください。



ヴァイオリン
久保 陽子

帯広交響楽団 第41 回定期演奏会



指揮
渡邊 一正

Kazumasa Watanabe

2015年4月から東京フィルハーモニー交響楽団レジデント・コンダクター。1995～2002年広島交響楽団正指揮者、1996～2015

©三好 英輔

年3月まで東京フィルハーモニー交響楽団指揮者を歴任。1998年にNHK交響楽団の指揮台に初登場し、それ以後オーチャード定期、NHKホール定期を始めN響との共演も多い。第69回日本音楽コンクール作曲部門と第77回同コンクール・ピアノ部門本選会演奏に対しコンクール委員会特別賞を受賞。日本国内では札幌交響楽団、日本センチュリー交響楽団、群馬交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団などほぼ全ての主要な日本国内のオーケストラへ定期的に客演している。

オペラでは新国立劇場でマスカーニ歌劇「友人フリッツ」を、同劇場バレエ団「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮。2006年「白鳥の湖」新演出の指揮も任され大成功を収めた。サンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど海外でも活躍している。

ピアニストとして8歳の時に東京交響楽団、東京フィルとハイドンのピアノ協奏曲を協演。1987年から1989年には渡欧しハンス・ライグラフ氏に師事。東京フィル定期、広島響定期などのオーケストラとベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番、第5番「皇帝」、ラヴェル、ガーシュウィンなどの弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も評価されている。



ヴァイオリン
久保 陽子

Yoko Kubo

©篠原 英治

3歳より父の手ほどきを受け、その後、折田泉、村山信吉、J. イスナールおよび斎藤秀雄らに師事。1962年桐朋女子高等学校音楽科

卒業、同年チャイコフスキー国際コンクール第3位入賞。1963年よりフランス政府給費留学生としてパリに留学しR. ベネデッティ、J. カルヴェに師事。1966年マルセイユ音楽院ディプロマコースを卒業、同時に名誉市民のメダルを授与される。1964年パガニーニ国際コンクール、1965年ロン＝ティボー国際コンクールにて第2位。1967年からJ. シゲティに師事。その後クルチ国際コンクール第1位。ソリストとして世界的な演奏活動をする他、ピアニスト弘中孝と共に桐五重奏団、久保陽子トリオまたジャパン・ストリング・クワルテットを主宰するなど室内楽奏者としても活躍中。これまでにCD『J.S. バッハ/無伴奏ヴァイオリン・ソナタとパルティータ全6曲』、『ブラームス/ヴァイオリンとピアノのためのソナタ全3曲』、『ベートーヴェン/ピアノ・トリオ第7番大公、ブラームス/ピアノ・トリオ第1番』、『パガニーニ:カプリース全24曲』をリリース、いずれも高い評価を得ている。2011年3月まで東京音楽大学教授。近年は無伴奏作品演奏に積極的に取り組む他、将来性のある若手演奏家たちとのデュオ、アンサンブルシリーズを企画する等後進の育成にも力を注いでいる。

管弦楽 帯広交響楽団 OBIHIRO Symphony Orchestra



帯広交響楽団は発足から32年目を迎え、発足からこれまで継続的にプロの指導者・指揮者をお招きして指導を受け、より質の高い音楽作りを目指しています。

これまで「定期演奏会」を40回、「親と子のわくわく音楽会」を29回開催し、毎年3～4回の演奏会を開催して市民の皆様と交流を行っています。

また、市民オペラ公演は5回、市民バレエ公演は

4回を数え、各公演とも数年間隔の催しですが各界からの評価も高く、今後も継続されることが期待されています。

昨年12月には第4回市民バレエ「コッペリア」を好演。

今年12月に第6回帯広市民オペラ「カルメン」を開催。